

平成19年10月19日

各 位

会 社 名 ステラ・グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 松浦 清
(コード番号8206 大証2部)
問合せ先 財務部長 古川 善健
Tel (03) 5425-2511

特別損失の計上及び 平成20年2月期中間期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

当社は、現在集計中の平成20年2月期中間期(平成19年3月1日から平成19年8月31日まで)決算において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

またそれに伴い、平成19年4月13日に発表いたしました平成20年2月期中間期の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

I 特別損失発生の経緯

- ①投資有価証券評価損 (個別) 238百万円
(連結) 598百万円

当社は前平成19年2月期(平成18年3月1日から平成19年2月28日まで)をもって、短期的なキャピタルゲインを目的とする有価証券の売買を行う投資事業を行わないことといたしました。しかし、前期末において当社の流動資産における営業投資有価証券が1,205百万円残っており、今平成20年2月期(平成19年3月1日から平成20年2月29日まで)においては、その営業投資有価証券を固定資産の投資有価証券に振り替えております。この残存の投資有価証券は、順次売却する方針で、市場環境や個々の銘柄の株価変動等の要素を勘案しながら売却を進めております。

しかし、昨今の証券市場の低迷により、株価が下落したため、改めて有価証券の評価価値について、当社および連結各社にて保守的に検証、見直しを行った結果、上記の特別損失を計上することといたしました。

- ②子会社株式評価損(個別) 2,739百万円
のれん一括償却額(連結) 315百万円

当社が保有する連結子会社である株式会社プロジェ・ホールディングス(大証・名証2部、コー

ド番号 3114、以下「プロジェ・ホールディングス」) および株式会社オーエー・システム・プラザ (JASDAQ、コード番号 7491、以下「オーエー・システム・プラザ」) 株式の証券市場における価格が、当社貸借対照表における株式の資産額に対して急落したことを受けて、両社株式の評価減について検討いたしました。その結果、今中間期末 (平成 19 年 8 月 31 日) 時点では下落率 50% を超えておりませんが、その後の証券市場における株価動向を勘案し、協議の結果、今中間決算期末において両社株式の評価損の計上を行うことが適切であるとの結論に達し、当社単体決算 (個別) においてプロジェ・ホールディングス 1,437 百万円、オーエー・システム・プラザ 1,139 百万円の特別損失をそれぞれ計上することといたしました。

また、連結上においては、連結貸借対照表におけるプロジェ・ホールディングスの「のれん」勘定の減損処理 191 百万円を併せて行うこととなります。(オーエー・システム・プラザの「のれん」勘定は、既に平成 19 年 2 月期において減損処理済です)

またこれに加え、平成 19 年 9 月 7 日付でお知らせしましたとおり、株式会社ジャクスタポーズの譲渡に伴い、今中間期末において同社株式および「のれん」勘定を減損処理いたします。

③固定資産除却損 (個別) 176 百万円
(連結) 197 百万円

事業見直しの観点から、当社および連結会社が保有する資産の検証、見直しを行った結果、今後使用しない無形固定資産について除却損処理を行うことにいたしました。

その主たるものは、当社が保有する、アジア事業 (アパレル及びファッション商品の小売、広告、IT、関連事業) の拡大を視野に入れた、高級品・ファッションブランド品を含む多様な商品・役務を対象とした著作権につきまして、これらのサービスの将来見通しについて協議をした結果、除却損を計上することにいたしました。

II 平成 20 年 2 月期中間期業績予想の修正 (平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日)

上記特別損失の計上及び最近の当社の業績動向ならびにプロジェ・ホールディングスの業績予想の修正等を踏まえ、平成 19 年 4 月 13 日に発表いたしました平成 20 年 2 月期中間期 (平成 19 年 3 月 1 日から平成 19 年 8 月 31 日まで) の業績予想 (連結・個別) を修正しましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成 20 年 2 月期通期 (平成 19 年 3 月 1 日から平成 20 年 2 月 29 日まで) の業績予想 (連結・個別) についても修正の必要がありますが、現在精査中につき、修正が必要になる場合には確定し次第速やかに発表いたします。

【連結】

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成19年4月13日発表)	17,000	590	250
今回修正予想 (B)	17,900	△200	△1,455
増減額 (B - A)	900	△790	△1,705
増減率 (%) (B - A) / (A)	5.3%	-	-
前中間期 (平成19年2月期中間期) 実績	10,446	△333	△529

売上高については、今期より連結に加わったグローバル・ファンデックス株式会社の業績寄与等もあり、当初予想を若干上回る見込みです。

損益面につきましては、第1四半期に発生したプロジェ・ホールディングスの本社移転、人員削減等による一時的な費用をはじめとして、連結各社における経費が当初想定以上にかかってしまったことに加え、前述の特別損失の計上により、上記のとおり予想数値を修正いたします。

【個別】

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成19年4月13日発表)	150	50	30
今回修正予想 (B)	67	△195	△3,370
増減額 (B - A)	△83	△245	△3,400
増減率 (%) (B - A) / (A)	—	—	—
前中間期 (平成19年2月期中間期) 実績	30	△387	△423

売上高につきましては、当社は純粋持株会社として、グループ各社からの経営管理料と配当収入を主たる収入源としておりますが、今般グループ各社のモチベーションを上げるべく、当初想定より経営管理料全体を引き下げたことに伴い、上記のとおり予想数値を修正いたします。

損益面につきましては、のれん代償却をはじめとした経費が、当初想定以上にかかってしまったことに加え、前述の特別損失の計上により、上記のとおり予想数値を修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来に関する前提・見通し・計画に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく変化する可能性がありますので、これら業績等の予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。

以 上